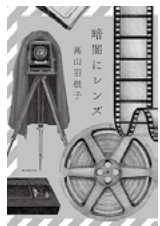


みんなの図書館

町立図書館 ☎0234-43-3039
 分館(狩川公民館内) ☎0234-56-3308



一般向 新刊案内



『暗闇にレンズ』(高山 羽根子)
 高校生のわたしは、親友と監視カメラだらけの街を歩き、携帯端末の小さなレンズをかざして世界を切り取る。かつて母や、祖母や、曾祖母がしてきたように――。(東京創元社)

- ・『孔丘』(宮城谷 昌光)
- ・『スター』(朝井 リョウ)
- ・『日没』(桐野 夏生)
- ・『滅びの前のシャングリラ』(凧良 ゆう)
- ・『くちばみ』(花村 萬月)
- ・『龍神の子どもたち』(乾 ルカ)
- ・『家族でごはん12か月』(野口 真紀)
- ④『煉獄の獅子たち』(深町 秋生)

News 図書館からのお知らせ

絵本の読み聞かせ【11/18(水) 10:00～】「おはなしらんどポップコーン」さんによるおはなし会！どなたでもご参加いただけます。(事前申込み不要)
 ☆開館時間の変更にご注意ください☆
 11月～3月の冬期間、平日の開館時間が9:00～18:00になります。

児童向 新刊案内



『はんぶんこ』(多田 ヒロシ)
 動物たちが大好きな食べ物をはんぶんこ！でも、いちごケーキのいちごがうまきはんぶんにならなかつたり、紙のお皿まではんぶんこにしちゃつたり、はんぶんこにならなくて泣いちゃつたり…。(こぐま社)

- ・『おとうとのたからもの』(小手鞠 るい/作, すずき みほ/絵)
- ・『ねぎぼうずのあさたろう その11 なかせんどうもどりたび』(飯野 和好)
- ・『ずかん ウイルス』(武村 政春・宮沢 孝幸/監修)
- ④『ぼくちのおふるやさん』(とよた かずひこ/作・絵)

今月のおすすめ本

11月3日は文化の日です。秋の夜長に、クラシック音楽はいかがでしょう？

『クラシック音楽を10倍楽しむ 魔境のオーケストラ入門』(齋藤 真知亜)



オケマンは高給取り？ 演奏の腕前と楽器の値段は比例する？ チャイコフスキーは体育会系？ ヴァイオリニストの著者が、交響楽団の知られざる世界や、オケマンの生態、クラシック音楽の裏話などを紹介する。(ベストセラーズ)

- ・『クラシックの贅沢』(宮本 英世)

おはなしのいしば

かまぞ

文・絵 樋渡 浩さん

子どもの頃、わが家の北隣の土地に私塾の先生の顕彰碑が建っており、その碑を守るようにして梨の老木が生えていた。秋、風で落ちた緑褐色の実が石碑に当たって割れると、何とも言えない良い匂いを放っていた。物干し竿で実を叩き落そうとしたが、わずかに届かないので口惜しい思いをしていた私たちは、ある日、桶屋のヒトシくんの家から、籬の材料にするために裏庭に積んであった長い孟宗竹を借りることを思いついた。作戦は見事に成功した。叢に腰を下ろして梨の実を齧っていた。

るときヒトシくんが言った。「この梨ええかんして(よい匂いがして)こうで(とても)んめんども(美味しいけれども)カマゾばり(ばかり)おっきぐで(大きくて)くどご(食うところ)半分もねぜ(ないよ)」「カマゾは果物の芯を言うおらほのことばである。十数年経って学生になってから、実の色合いや香りから、あの梨の木は宮沢賢治の「やまなし」に出てくるイワテヤマナシと同種だったのではないかと想



像することができたが、梨や柿の実の芯をカマゾと言う理由はこの年になった今も解らない。